

2015年度県内主要スキー場利用動向調査（速報）

『雪不足の影響で利用者数は大幅に減少するも、インバウンドは引き続き好調』

○ ポイント

- ・2015年度の県内主要23ヶ所のスキー場利用者数は、前年度を10.1%下回り、延べ4,585千人となった。近年は5,000千人程度とほぼ横ばいで推移していたが、当研究所の調査開始以来、過去最低を更新した。
- ・シーズンを通じて暖冬による雪不足の影響を受けた。オープンが遅れたり、前倒しで営業を終了するなど営業期間が短くなったスキー場が多くあった。また、2016年1月に起きた軽井沢スキーバス転落事故の影響により、若年層を中心としたツアーバスの団体客が減少したスキー場もあった。
- ・前年度と比較して利用者が増加したスキー場は、4か所（「黒姫高原スノーパーク」「白馬五竜・47」「柵池高原」「おんたけ2240」）のみで、シーズンを通じてほとんどのスキー場で利用者が減少した。
- ・こうした中、外国人利用者はオーストラリアやアジア諸国を中心に引き続き好調であり、前年度よりもさらに利用者数を伸ばしたスキー場もあった。
- ・北信地域では、新幹線飯山駅開業に伴い飯山駅からの二次交通を整備したことで、新幹線による利用者が増加したスキー場もみられた。

〔月別の動向〕

- ・12月～1月は暖冬による雪不足でオープンが遅れたスキー場が多く、また1月の後半からは軽井沢スキーバス転落事故の影響を受け、利用者数は前年に比べて減少した。
- ・2月も雪不足や軽井沢スキーバス転落事故の影響に加え、飛び石連休の最終日が雨となったことから、前年に比べて減少した。
- ・3月は、暖かい日が続き雪解けが早く、前倒しで営業を終了するところもあり、多くのスキー場で前年に比べ大幅な減少となった。

【調査の概要】

1. 調査対象

当研究所が毎年、定点調査している県内の主要スキー場23ヶ所（県内入り込みのおよそ7割に相当）

2. 調査対象期間

2015年度のオープン～2016年3月31日まで

3. 調査方法

当該スキー場ないしスキー場を管轄する市町村に調査票を配布・回収した。

4. その他

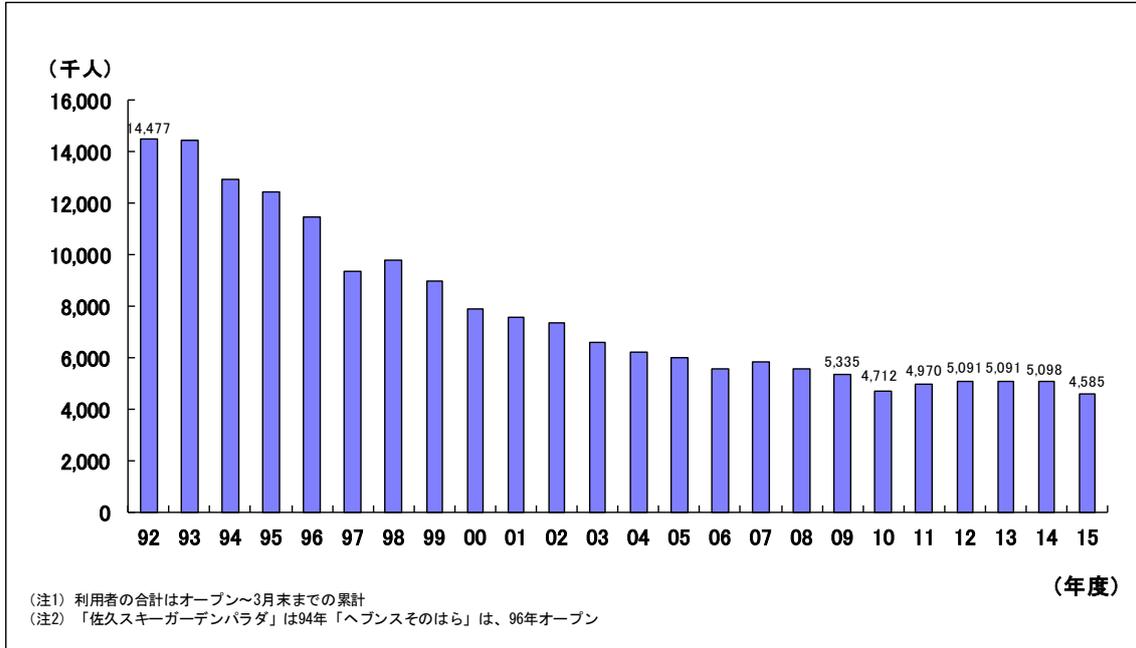
詳細な分析については「経済月報6月号」に掲載します。

照会先 長野経済研究所
調査部 村田・山岸（慎）
電話 026-224-0504

○ **利用者数は昨シーズンよりも大幅に減少（図表 1）**

- ・2015 年度県内主要 23 ヶ所のスキー場利用者数は、前年度 (5, 098 千人) より大幅に減少し 4, 585 千人（対前年度比▲513 千人）となった。
- ・2012 年度以降はほぼ横ばいで推移していたが、当研究所の調査開始以来、過去最低を更新した。
- ・なお、東日本大震災及び長野県北部地震が発生した 2010 年度と比較しても▲127 千人の減少となった。

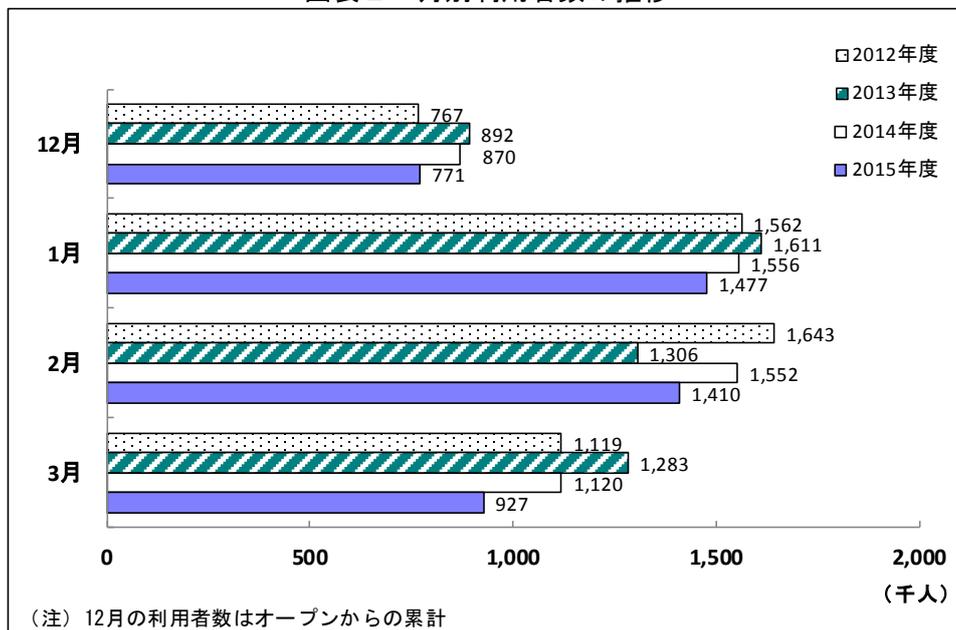
図表 1 県内主要スキー場の利用者数推移



○ **暖冬による雪不足や軽井沢スキーバス転落事故の影響によりすべての月で前年同月比減少（図表 2）**

- ・12～1月は、暖冬による雪不足からオープンが遅れたスキー場が多く、また1月後半以降は軽井沢スキーバス転落事故の影響により、利用者数は前年に比べ減少した。
- ・2月は、雪不足や軽井沢スキーバス転落事故による若年層を中心としたツアーバスの減少に加え、飛び石連休の最終日が雨となった影響から前年に比べ減少した。
- ・3月は、暖かい日が続いた影響で雪解けが早く、前倒しで営業を終了するところもあり、前年に比べて大幅に減少した。

図表 2 月別利用者数の推移



○ ほとんどのスキー場で利用者数が前年度に比べ減少（図表3）

- ・シーズンを通じてほとんどのスキー場で利用者数は減少した。
- ・暖冬による雪不足の影響を受け、オープンが遅れたり、前倒しで営業を終了するなど営業期間が短くなったスキー場が多くあった。
- ・白馬五竜・47 や柵池高原、黒姫高原スノーパークなど比較的積雪に恵まれたスキー場では、他のスキー場からの流入もあり、利用者数が増加した。
- ・2016年1月に起きた軽井沢スキーバス転落事故の影響により、若年層を中心としたツアーバスの団体客が減少したスキー場もあった。
- ・北信地域では、新幹線飯山駅開業に伴い飯山駅から多くの入場者があったスキー場もみられた。
- ・大北地域や野沢温泉などのスキー場では、オーストラリアやアジア諸国を中心とした外国人利用者が引き続き好調であり、前年度よりもさらに利用を伸ばした。
- ・なお「おんたけ2240」は、御嶽山噴火の影響を受けオープンが2月下旬に遅れた前年の反動から、利用者数が大幅に増加した形となった。

図表3 県内主要スキー場 月別利用者動向

		2015年度					前年比				
スキー場	市町村	12月	1月	2月	3月	合計	12月	1月	2月	3月	合計
佐久地域											
佐久スキーガーデン パラダ	佐久市	6	44	47	22	119	▲ 71.6	▲ 43.1	▲ 31.1	▲ 32.7	▲ 40.6
軽井沢プリンスホテル	軽井沢町	69	75	67	42	253	▲ 1.8	▲ 9.5	▲ 15.3	▲ 19.0	▲ 10.9
しらかば 2in1	立科町	8	24	16	9	57	(▲78.0)	(▲45.1)	(▲57.2)	(▲70.8)	(▲61.3)
上小地域											
湯の丸	東御市	24	46	39	39	148	▲ 32.4	▲ 22.0	▲ 14.0	22.6	▲ 13.9
菅平高原	上田市	28	54	85	44	210	▲ 6.0	0.0	▲ 0.6	▲ 2.2	▲ 1.5
諏訪地域											
車山高原	茅野市	24	35	30	22	111	▲ 6.7	▲ 15.7	▲ 25.2	▲ 23.7	▲ 18.5
富士見パノラマ	富士見町	20	48	47	25	140	▲ 3.8	▲ 12.5	▲ 7.2	▲ 14.0	▲ 9.9
下伊那地域											
ヘブンスそのはら	阿智村	6	19	17	7	49	▲ 33.1	▲ 14.5	▲ 21.8	▲ 25.5	▲ 21.5
木曾地域											
おんたけ2240	王滝村	11	19	13	13	56	—	—	517.4	▲ 4.0	263.2
松本地域											
マウント乗鞍	松本市	12	23	25	16	75	▲ 27.3	▲ 10.7	▲ 1.9	▲ 14.1	▲ 11.9
大北地域											
鹿島槍スポーツヴィレッジ	大町市	15	35	30	16	96	▲ 35.8	▲ 22.0	▲ 31.2	▲ 45.5	▲ 31.9
白馬八方尾根	白馬村	59	104	120	79	362	▲ 11.3	▲ 15.6	3.9	▲ 10.1	▲ 7.9
白馬岩岳	白馬村	7	19	34	17	78	▲ 57.9	▲ 49.3	▲ 9.8	▲ 34.5	▲ 34.5
白馬五竜・47	白馬村	119	136	101	74	430	78.2	36.3	▲ 1.0	1.8	26.0
柵池高原	小谷村	50	82	72	51	255	2.1	17.3	▲ 0.3	▲ 4.0	4.4
長野地域											
タックラムスキーパーク	信濃町	6	30	26	13	75	▲ 54.9	8.0	2.0	▲ 17.0	▲ 8.3
黒姫高原スノーパーク	信濃町	7	37	24	10	78	▲ 28.4	33.8	16.5	▲ 28.5	8.6
戸隠	長野市	10	31	32	20	93	▲ 43.1	▲ 8.0	3.2	▲ 11.7	▲ 11.3
北信地域											
戸狩温泉	飯山市	8	30	43	18	98	▲ 55.9	▲ 8.3	▲ 19.7	▲ 41.9	▲ 26.8
斑尾高原	飯山市	15	53	61	32	160	▲ 45.0	3.0	▲ 20.7	▲ 30.8	▲ 20.3
志賀高原	山ノ内町	161	265	223	199	848	▲ 4.7	7.7	▲ 0.4	▲ 7.9	▲ 0.8
北志賀高原	山ノ内町	55	141	155	95	446	▲ 26.7	▲ 20.3	▲ 18.0	▲ 31.2	▲ 23.0
野沢温泉	野沢温泉村	52	126	105	63	347	▲ 7.4	3.8	▲ 2.4	▲ 15.1	▲ 3.7
県内主要23スキー場合計		771	1,477	1,410	927	4,585	▲ 11.4	▲ 5.1	▲ 9.2	▲ 17.2	▲ 10.1

(資料) 調査票をもとに長野経済研究所作成
 (注1) 四捨五入の関係から、各月の和が合計に一致しない箇所がある
 (注2) 12月の利用者数はオープンからの累計
 (注3) 「志賀高原」は志賀高原19スキー場、「北志賀高原」は4スキー場の合計
 (注4) 2014年度から「Hakuba47ウインタースポーツパーク」は「白馬五竜」と合算
 (注5) 2014年度の「おんたけ2240」は2月下旬にオープン
 (注6) 2015年度から「しらかば2in1」は集計方法を変更